

2022年度
スカラネット入力下書き用紙 記入時の注意事項
(大学作成)

大学
作成

下記見本を参考に、漏れのないように必ず学生本人が記入してください。

この記入見本は、給付型奨学金と貸与型奨学金を併用して申込をする場合の下書き用紙をベースにしています。
 貸与型奨学金のみ希望する学生は、貸与型に関連する設問のみ参照するようにしてください。

氏 名	学籍番号
受 付 番 号	
-	-

※大学提出時は記入不要
 スカラネット(WEB)入力完了後に表示
 される番号を記入すること

ログイン

あなたの識別番号（ユーザIDとパスワード）を入力して、下の「ログイン」ボタンを押してください
 (注)パスワード入力の際は全角・半角、大文字・小文字の区別をします。

ユーザID パスワード

※提出時は記入不要
 (提出書類の不備が解消
 次第、ID・パスワード用紙
 をご自宅に郵送します)

「確認書兼同意書」の提出

※給付奨学金の申込みにあたっては、「確認書兼同意書」を「給付奨学金確認書」に、「貸与申込条件等」を「給付申込条件等」に読み替えてください。

あなた（あなたが未成年（18歳未満）の場合は、あなたと親権者または未成年後見人）は、「確認書兼同意書」に記載されている次の内容を確認・承認したうえで、署名した「確認書兼同意書」を提出しましたか。

- 貸与申込条件等
- 個人信用情報の取扱いに関する同意条項

※「個人信用情報の取扱いに関する同意条項」には、延滞するとあなたの個人情報が個人信用情報機関に登録される等、重要な内容が記載されています。

- ① 提出しました。
 提出していません。

下の「規程等を表示」ボタンを押して規程等（保証委託約款を含む）を確認し、了承する場合のみ、申込を行ってください。

②

③ 了承します

④

※規程等を確認するまで、次の画面に進むことはできません。

次の画面に進みます。下の「次へ」ボタンを押してください。

①～④の順番で
 入力を行うこと

奨学金学種（学校）の選択

あなたはどの課程で奨学金を受けたいですか。

大学 ▼

大学の場合の表示例

申込み奨学金を選択後、「次へ」ボタンを押してください。

(1) 定期採用（1次又は2次）

現在在学している大学での奨学金を申込みことができます。

(2) 家計急変採用（給付奨学金のみ）

生計維持者に特定の事由が生じたことで家計急変し、急変後の収入状況が住民税情報に反映される前に支援を要する場合のみ申し込むことができます。
 学校で申込資格を確認してください。

(3) 緊急採用・応急採用（貸与奨学金のみ）

過去1年以内に生計を維持している人が失職、破産、倒産、病気、死亡等又は火災、風水害等により家計急変が生じた人のみ申込みことができます。
 学校で申込資格を確認してください。

(4) 第二種奨学金（短期留学）

国内の学校等に在籍中に海外の大学等へ短期留学する人は申込みことができます。
 現在、日本学生支援機構の他の奨学金を貸与中の場合は、その奨学金の採用年度によって申込の条件が異なります。学校で申込資格を確認してください。

マイナンバー提出書情報

「マイナンバー提出書」に印字されている申込IDとパスワードを入力してください。

申込ID

パスワード

※提出時は記入不要

(提出書類の不備が解消次第、ID・パスワードが記載されたマイナンバー提出書をご自宅に郵送します。)

見本を表示

B-誓約欄

日本学生支援機構理事長 殿

私は貴機構奨学金の申込みにあたり、学校に提出した「確認書兼同意書」及び「給付奨学金確認書」にしたがい、奨学生に採用決定後は速やかに貸与奨学金は「返還誓約書」を提出し、貸与が終了した後、または給付に返還の義務が生じた場合には滞りなく返還すること及び以下の申込み記載事項については正しく記入することを誓約します。

※スカラネット(WEB)の入力日を入れること

誓約日 令和 4 年 9 月 日 (半角数字)

氏名 (全角漢字) 姓 明学 名 花子 (5文字以内)

氏名 (全角カナ) メイガク ハナコ (15文字以内)

生年月日 (和暦) (半角数字) 平成 15 年 8 月 14 日 生

<参考>

和暦	平成7	平成8	平成9	平成10	平成11	平成12	平成13	平成14	平成15	平成16
西暦	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004

◆給付奨学金支援区分の情報提供の確認◆

あなたが給付奨学金を申込み場合は、あなたの給付奨学金における審査結果（支給額の割合に関する情報を含む。）について、機構のシステム等を通じて在籍する学校に必要な応じて提供します。

同意します

◆第一種奨学金の貸与月額の確認◆

あなたが第一種奨学金（要返還。無利子）と給付奨学金又は授業料等減免の支援を併用で受ける場合は、政令等の規定に基づき、給付奨学金の支給月額及び授業料の減免額に応じて、第一種奨学金の貸与月額が調整（減額または増額）される場合があります。調整の結果、借入金額が増額となる場合は、別途届出が必要になります。また、調整後の貸与月額につき選択が可能な場合は、機構の定めるところにしたがい調整前の貸与月額と同額以下の貸与月額に調整されます。

同意します

2/8

C-奨学金申込情報

1. 給付奨学金の新規申込みを希望しますか。(現在、給付奨学金を受けている場合は、(c)の(1)～(4)を希望する方以外は「希望しません」を選択してください。)

- 希望します
 希望しません

※給付奨学金の対象者は、進学先の大学等において別途手続きをすることで授業料や入学金の減免を受けられます。

参考：支給月額一覧 (PDF)

2. 貸与奨学金(月額：第一種奨学金(無利子)、第二種奨学金(有利子))の新規申込みを希望しますか(現在、貸与奨学金を受けている場合、(c)の(8)～(14)を希望する方以外は「希望しません」を選択してください。)

- 希望します
 希望しません

※新規で給付型奨学金を申請する場合のみ「希望します」を選択

※新規で貸与型奨学金を申請する場合のみ「希望します」を選択

※貸与型の奨学金を希望する場合は、(1)～(14)の内容をよく確認し、必要とする貸与奨学金を選択すること

D-あなたの在学情報 **大学の場合**

1. 学校

(1) あなたの学校名を確認してください。 (1) ×× 大学

(2) あなたの学籍番号を記入してください。 (2) (半角英数字記号)

(3) あなたの在学している学部(科)名を選択してください。 (3)

(注) 短期大学・専修学校に在学している方は学校の指示にしたがって選択してください

(4) あなたは専攻科または別科に在学していますか。 (4) いいえ 専攻科 別科

(5) 学年を記入してください。 (5) (半角数字) 学年

(6) 昼夜課程を選択してください。 **全員「昼」を選択**

(6) 昼(昼夜開講含む) 夜 通年スクーリング 昼間スクーリング

(7) 現在通っている学校への入学について、次の①～③のうち該当するものを選択し、入学年月等を記入してください。

○①現在通っている学校の1年次に入学した。(同一校で転学部・科している場合を含む)

→入学した年月: 西暦(半角数字4桁) 年 月

(8) あなたの正規の卒業予定年月を記入してください。 **全員「4年0か月」と記入**

(8) 西暦(半角数字4桁) 年 月卒業予定

(9) あなたの正規の修業年限を記入してください。

(9) (半角数字) 年 か月

(10) あなたが通学するキャンパスのある住所を入力してください。

※郵便番号を入力して「住所検索」ボタンを押しても住所が自動入力されない場合は郵便局ホームページから住所をもとに郵便番号を検索し、本画面に入力してください。

(郵便番号)(半角数字) -

住所 1 (自動入力)

住所 2 (番地以降)(全角文字)

(11) あなたの通学形態を選択してください。

※社会的養護を必要とする人が、児童養護施設等や里親等のもとから通学する場合は、「自宅学(またはこれに準ずる)」を選択してください。

※社会的養護を必要とする人が、児童養護施設等や里親等のもとを離れて通学する場合は、学校までの通学距離・時間等に関わらず「自宅外通学」を選択し、下記設問にて⑥及び「支障が生じる」を選択のうえ、支障が生じる理由の入力欄に「施設等・里親等のもとを離れて生活している」旨を入力してください。

※給付奨学金を希望する人が「自宅外通学」を選択した場合でも、自宅通学の月額からの振込み開始となります(給付奨学金に併せて第一種奨学金を希望する場合、第一種奨学金も自宅月額からの振込みとなります)。自宅外月額の振込みは、生計維持者(原則父母)と別居し、かつ学生等本人の居住に係る家賃が発生していることの証明書類(アパートの賃貸借契約書のコピー等)を学校へ提出し、不備なく審査終了してからとなります。

自宅通学(またはこれに準ずる) 自宅外通学

全員「いいえ」を選択

全員「昼」を選択

全員「4年0か月」と記入

事業所の郵便番号はシステム上入力できないため、以下の郵便番号を入力

横浜:1-2年生・国際学部生
→〒244-0816

白金:3-4年生(国際学部生除く)
→〒108-0071

※「自宅外通学」については、給付型奨学金案内p.14(1)(注4)(注5)を確認

E-奨学金給付額情報 **<給付型申請者のみ>**

1. 給付奨学金を希望する人は次のことに答えてください。

(1) 給付奨学金が採用となった場合、4月振込分からの支給の停止を希望しますか。

はい いいえ

「はい」と答えた人は、停止理由を選択してください。

2022年4月1日時点で休学中であるため(2022年4月2日以降に休学が始まる場合は該当しません。申込後、別途手続が必要です)。

他団体の奨学金利用に伴い、機構の給付奨学金との併給が認められないため

その他

給付型奨学金の支給を受けたい場合は、「いいえ」を選択

F-奨学金貸与額情報

<貸与型申請者のみ>

1. 第一種奨学金を希望する人

1. 第一種奨学金を希望する人は次のことに教えてください。

(1) あなたの希望する月額を1つ選択してください。

[2018年度以降入学者(2018年4月以降の入学年月を入力した人)の貸与月額]

区分 月額 の種類	大学				短期大学・専修学校(専門課程)			
	国・公立		私立		国・公立		私立	
	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外
最高月額	4万5千円	5万1千円	5万4千円	6万4千円	4万5千円	5万1千円	5万3千円	6万円
最高月額 以外の月額			5万円				5万円	
	4万円	4万円	4万円	4万円	4万円	4万円	4万円	4万円
	3万円	3万円	3万円	3万円	3万円	3万円	3万円	3万円
	2万円	2万円	2万円	2万円	2万円	2万円	2万円	2万円

入学時期により貸与月額が異なるので注意

<2018年度以降入学者のみ>
(1)で最高月額を選択した人は第二希望の月額を選択

⇒ 最高月額を選択した人は、以下の質問に教えてください。

貸与月額〇〇円は一定の条件を満たした場合のみ貸与を受けられる月額です。条件を満たさなかった場合に希望する月額を選択してください。

[2017年度以前入学者(2018年3月以前の入学年月を入力した人)の貸与月額]

大学				短期大学・専修学校(専門課程)			
国・公立		私立		国・公立		私立	
自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外
4万5千円	5万1千円	5万4千円	6万4千円	4万5千円	5万1千円	5万3千円	6万円
3万円				3万円			

(2) あなたの希望する返還方式を選択してください。

(注) 所得連動返還方式を希望する場合、保証制度は「機関保証」になります。

(2) 所得連動返還方式 定額返還方式

(3) 第一種奨学金の再貸与を希望しますか。

(3) はい いいえ

「はい」と答えた人はこれまでに今回申込と同一学種で貸与を受けた第一種奨学金の奨学生番号を記入してください。

奨学生番号(半角数字)

第一種奨学金の再貸与を希望する人は「はい」を選択
※過去に他の大学で第一種奨学金を借りたことがなければ「いいえ」を選択

2. 第2種奨学金を希望する人

2. 第2種奨学金を希望する人は次のことに答えてください。

(1) あなたの希望する月額を1つ選択してください。

(1)

2万円	3万円	4万円	5万円	6万円	7万円
8万円	9万円	10万円	11万円	12万円	

(2) あなたは私立大学の医学・歯学・薬学・獣医学課程に在学していますか。

(2) はい いいえ

(3) 「はい」と答えた人でかつ12万円の月額を選択した人のみ増額月額を希望することができます。

あなたは（医・歯は4万円増、薬・獣医は2万円増）を希望しますか。

(3) 4万円 2万円 希望しない

全員「いいえ」
「希望しない」
を選択

併用貸与を希望する人

※貸与月額について確認してください。

あなたは、併用貸与を希望しています。併用貸与を受けると貸与総額及び毎月の返還額が多額となります。

この申込手続終了後、貸与月額が適切であるか再度確認してください。

なお、第2種奨学金の最高月額を選択した場合は、「家庭事情情報」欄に第2種奨学金の最高月額を必要とする「理由」をご記入いただくこととなります。

ご記入いただいた「理由」については、学校担当者から確認等を行う場合があります。

はい いいえ

第2種奨学金を希望する人

(4) あなたは何月分から貸与を希望しますか。

(注) 奨学生採用後は貸与始期の変更はできません。

(4) 西暦（半角数字4桁）2022年 月

2022年10月～2023年3月のいずれかの月を選択。
10～11月を選択した場合は初回振込時(12月)にまとめて振り込まれます。

新入生および今年度編入学した人のみ

3. 入学時特別増額貸与奨学金を希望する人のみ答えてください。

(1) あなたは入学時特別増額貸与奨学金を希望しますか。

1年次に入学した人および編入学の人のみ希望することができます。

(1) はい いいえ

(2) 「はい」と答えた人は、希望する額を選択してください。

(2) 10万円 20万円 30万円 40万円 50万円

※編入学で希望する人は「いいえ」を選択し、受付時に希望する旨を申し出てください。

3/8

G-あなたの履歴情報

1. あなたの最終学歴を記入してください。

1. 西暦(半角数字4桁) 年 月 卒業または退学

3. あなたはこれまでに、日本学生支援機構の「給付奨学金」(原則、返還不要)を受けていますか。(現在支給が終了しているものを含む)

はい いいえ

あなたはこれまでに、日本学生支援機構の「貸与奨学金」(第一種・第二種)(原則、要返還)を受けていますか(現在貸与が終了しているものを含む)。

はい いいえ

高等学校・大学・短期大学等、
学種を記入

「C-奨学金申込情報」で
入力した奨学生番号
以外に、日本学生支援機
構の奨学金を受けている
／受けたことがある場合
は、「はい」を選択し、次の
設問で奨学生番号を入力
してください。

4/8

<貸与型申請者のみ>

それぞれの保証制度について内容を確認の上、選択

H-保証制度

1. あなたが希望する保証制度を選択してください。

(1) 機関保証

※機関保証制度は、連帯保証人や保証人の選任が不要です(一定の保証料が毎月の奨学金から差し引かれます)。

制度の内容について承知し、機関保証を選択します。

(2) 人的保証

※人的保証制度は、選任する連帯保証人や保証人に事前に了解をとっておく必要があります。

制度の内容について承知し、人的保証を選択します。

1. 第一種奨学金についてあなたが希望する保証制度を選択してください。

所得連動返還を希望する場合、保証制度は「機関保証」のみになります。「人的保証」は選択できません。

(1) 機関保証

※機関保証制度は、連帯保証人や保証人の選任が不要です(一定の保証料が毎月の奨学金から差し引かれます)。

制度の内容について承知し、機関保証を選択します。

2. 第二種奨学金についてあなたが希望する保証制度を選択してください。

(1) 機関保証

※機関保証制度は、連帯保証人や保証人の選任が不要です(一定の保証料が毎月の奨学金から差し引かれます)。

制度の内容について承知し、機関保証を選択します。

(2) 人的保証

※人的保証制度は、選任する連帯保証人や保証人に事前に了解をとっておく必要があります。

制度の内容について承知し、人的保証を選択します。

<第二種奨学金希望者のみ>

- ・機関保証
- ・人的保証

のいずれか一つを選択

5/8

I-あなたの返還誓約書情報・給付誓約書情報

1. あなた自身について入力してください。

(1) あなたのお名前は△△ ○○さんですね。

(2) あなたの性別を選択してください。(任意)

(2)

(3) あなたの生年月日は××年△△月○○日ですね。

(3) 成年判定

(4) あなたの現住所を記入してください。

※申込者本人のマイナンバーを申込時に提出できない場合は、住民票住所を入力してください。

(4) (郵便番号)(半角数字) 108 住所検索

住所 1 (自動入力)

東京都港区白金台●丁目

住所 2 (番地以降)(全角文字)

△▲-□

入力時は、「住所の入力例」
を確認し、住所1と住所2の重
複がないよう注意。
※住所1には「●丁目」まで表
示される
※郵便番号は「半角数字」
番地は「全角数字」
で入力すること

H-保障制度で「(1) 機関保証」を選択した人

↓

2. 本人以外の連絡先について

あなたは保証制度画面で「機関保証」を選択しています。あなた以外の連絡先について入力してください。

(1) その氏名

	姓	名
(1) 漢字 (全角漢字)	<input type="text"/>	<input type="text"/>
カナ (全角カナ)	<input type="text"/>	<input type="text"/>

父母や親戚等、あなた自身についての照会に責任を持って回答できる方を記入すること(友人等は不可)

H-保障制度で「(2) 人的保証」を選択した人

↓

2. 連帯保証人と保証人について

あなたは保証制度画面で「人的保証」を選択しています。連帯保証人及び保証人について入力してください。

(1) 連帯保証人について入力してください。

- ・(あなた(申込者)が成年の場合)原則として、父母・兄弟姉妹又はおじ・おば等に入力してください。
- ・未成年者等保証能力がない人は認められません。
- ・債務整理(破産等)中の人を連帯保証人に選任することは認められません。

(2) 保証人について入力してください。

- ・原則として、4親等以内の成年親族のうち、あなた及び連帯保証人と別生計の65歳未満の人を選んでください。
- ・未成年者等保証能力がない人は認められません。
- ・債務整理(破産等)中の人を保証人に選任することは認められません。

※必ず事前に連帯保証人・保証人の了承を得てから記入すること

※連帯保証人・保証人の住所は、印鑑登録証明書に記載されている住所を記入すること

6/8

J-あなたの家族情報

1. あなたは社会的養護を必要とする人ですか。

はい いいえ

「はい」と答えた人は、あてはまるものを選択してください。

- 児童養護施設入所者等
- 児童自立支援施設入所者等
- 児童心理治療施設入所者等
- 自立援助ホーム入所者等
- 里親に養育されている(いた)人
- ファミリーホームで養育されている(いた)人

2. あなたの家族の人数

(1) 家族全員(あなたを含む)の人数を選択してください。

(1) 人

※「はい」を選択した場合は、
証明書類の提出が必要

同一生計の家族の人数を記入
※保証人に選任した同居の兄弟は含めない
※本学に提出する「奨学生情報記入シート」に記載されている同一生計の家族人数と一致させること

3 生計維持者（原則父母、父母がいない場合は代わって生計を維持する人）について記入してください。

1で「はい」と回答した人については、生計維持者について一部自動表示されます。

※父母がいる場合は、収入の有無に関わらず必ず父母ともに生計維持者として入力が必要です（離婚等により完全に別生計の人を除く）。

父母両方の記入が必要
※こちらで入力した方について、マイナンバーの提出が必要

(1) あなたの生計維持者の人数を記入してください。 (1) ▼ 人

(2) 生計維持者①（父母のいずれか、父母がいない場合は代わって生計を維持する人）

(a) あなたとの続柄 (a) ▼

(b) その氏名 姓
(b) 漢字（全角漢字）
カナ（全角カナ）

(d) その生年月日 (d) (和暦) (半角数字) ▼ 年 月 日生

(e) 生計維持者①のマイナンバーを機構に提出する準備はできていますか。

(注1) 「その他」を選択した人は、提出できない事情を選択してください。
(注2) 家計審査のため、マイナンバーの提出が必要です。
提出できない場合は、別途毎年所得証明書等の証明書類の提出が必要となります。

準備できている
 これから準備する
 その他

(f) 所得（申込時点の状況）について、該当するものをすべて選び、年額を入力してください。
※金額は万円単位で入力してください。（例：1,000,000円⇒100万円）

- 1. 給与所得
- 2. 商店・農業工業、個人経営
- 3. 失業手当
- 4. 生活保護費
- ※生活保護費はマイナンバーより情報収集しますので金額の入力は不要です。該当する場合は☑のみを入力してください。
- 5. 傷病手当金
- 6. 年金
- 7. 児童手当・児童扶養手当・特別児童扶養手当
- 8. 祖父母等からの援助や養育費等
- 9. その他
- 10. 2020年1月1日以前から無職

<貸与型申請者のみ>
別冊子「貸与奨学金案内」を
確認の上、記入

「1. 給与所得」または「2. 商店・農業工業、個人経営」を選んだ人は、あてはまるものを選択してください。

2020年1月2日以降に就職・転職・退職・開業・廃業しましたか。
 2020年1月1日以前から同じ勤務先（同じ業務形態で事業経営）
※生計維持者のマイナンバーから収入情報を連携しますので収入金額の入力不要です。

2020年1月以降に収入に変化があった方の金額欄は、受付時に
大学で確認・記入します。

2020年1月2日以降に就職・転職・退職・開業・廃業
就職・転職・退職・開業・廃業後の年収（見込み）はいくらですか
（給与明細、帳簿、年収見込証明書、離職票等の学校への提出が必要です）。

・給与所得者 給与支払金額合計 年額 万円
・給与所得以外（商店・農業工業、個人経営） 所得金額合計 年額 万円

<給付型申請者のみ>
「いいえ」の場合は、申請条件を満たさないため申請不可

4. あなたと生計維持者（原則父母）の資産の合計額は2,000万円未満（生計維持者が1人は1,250万円未満）ですか。

※対象となる資産の範囲：現金及びこれに準ずるもの、預貯金並びに有価証券の合計額（不動産は対象としない）。

はい いいえ

5. あなたと生計維持者（原則父母）の資産の額をそれぞれ記入してください。（1万円未満切り捨て）

(半角数字)

あなた	<input type="text"/>	万円
生計維持者①	<input type="text"/>	万円
生計維持者②	<input type="text"/>	万円
合計	<input type="text"/>	万円

現金・預貯金・有価証券の合計金額を記入
※不動産・保険は対象外

9. 家族のうち学校に在学している人に関して記入してください。 <貸与型申請者のみ>

- (1) 家族のうち就学者（あなたを含む）と就学前の弟妹の人数を合せて記入 (1) 人 してください。
- (2) あなたの他に学校に在学している人および小学校入学前の弟妹がいる場合は、全員記入してください。

浪人生(予備校生)は就学者に含まれないため注意

続柄	兄	姓	明学	名	大和	学校設置者	国立	在学している学校	大学	通学別	自宅外
	妹		明学		理穂		私立		高等学校		自宅

※本人については記入不要

10 その他の家族（「家計支持者・就学者・小学校入学前の弟妹」以外の家族）を記入してください。（あなたを除く）

続柄	祖父	姓	明学	名	亮	年齢	82
	祖母		明学		ヒロ子		78
	兄		明学		卓也		24

同一生計者のうち、生計維持者・就学者以外について記入
※浪人生(予備校生)もこの欄に記入

K-特記情報 <貸与型申請者のみ>

1. あなたの支払っている年間の授業料を記入してください。 万円

下記の表の中から在籍する学部の金額を記入

<22~17年度生>

文(英文・フランス文)、経済、社会、法	83万円
文(芸術)	90万円
国際(国際)	88万円
国際(国際キャリア)	100万円
心理	86万円
22PSのみ	87万円

<16年度生>

文(英文・フランス文)、経済、社会、法	82万円
文(芸術)	88万円
国際(国際)	87万円
国際(国際キャリア)	99万円
心理	85万円

2. あなたの家族は母子または父子家庭ですか。

2. ○はい ○いいえ
※3~6で「はい」を選択した場合は
証明書類が必要

3. 家族の中に障害のある人(常に就床を要する介護の必要な人等を含む)がいますか。

3. ○はい ○いいえ

「はい」と答えた人は、その人数を記入してください。

人

4. 主に家計を支えている人が単身赴任等で別居していますか。

4. ○はい ○いいえ

「はい」と答えた人は、別居による住居・光熱・水道・家具・家事用品の年間の実費を記入してください。

万円

5. あなたの家族に6ヶ月以上にわたり療養中の人やまたは療養を必要とする人がいますか。

5. ○はい ○いいえ

「はい」と答えた人は、療養のために必要な1年間の支出金額を記入してください。

万円

6. この1年間に火災・風水害又は盗難などの被害を受けたことがありますか。

6. ○はい ○いいえ

L-家庭事情情報

1. 奨学金を希望するに至った家庭事情や、特に説明を要することを記入してください。(全角200文字以内、下の記入欄をご利用ください)

注) 主に生計を維持する人が無職(失職)の場合には、その無職(失職)となった年月、理由、現在の生活費の出所等を具体的に記入してください。

【全員記入必須】※160字以上を目安にできるだけ詳細を記入※
 ・なぜ奨学金が必要なのか(家庭事情や経済的事情など)
 ・奨学金を何に使用する予定なのか
 (学納金に充てる、一人暮らしのため)
 ・併用貸与希望で第二種奨学金の月額12万円を選択した場合は、その金額を借りる「理由」を明確に記入
 <空欄・記入不足のまま出願した場合は、出願を受け付けません>

M-奨学金振込口座情報

1. 奨学金を振り込む金融機関を選択してください。 1. 銀行等 ゆうちょ銀行

【銀行等を選択した場合】

金融機関名および支店名を選択してください。

(1) 金融機関名の読みの先頭1文字を選択してください。

(1)

1 (2) 金融機関名を選択してください。

(2)

(3) 支店名の読みの先頭1文字を選択してください。

(3)

2 (4) 支店名を選択してください。

(4)

2. 預金通帳等で確認後、口座番号を入力してください。

3

2. 普通（総合）口座

確認のため、再度口座番号を入力してください。

確認用

3. 口座名義人を入力してください。
(口座名義人は本人に限ります)

4

半角数字

3. 口座名義人（全角カナ）

姓

名

欄外に以下を記入

- ・金融機関名
- ・支店名

●口座名義人は、奨学生本人であること

●B-誓約書欄で入力した本人のカナ氏名と同一であること

【ゆうちょ銀行を選択した場合】

2. 貯金通帳等で確認後、口座の記号-番号を入力してください。

1

2

2. 記号-番号

記号

番号

確認のため、再度口座の記号-番号を入力してください。

記号

番号

確認用

半角数字

3. 口座名義人を入力してください。
(口座名義人は本人に限ります)

3. 口座名義人（全角カナ）

姓

名

●口座名義人は、奨学生本人であること

●B-誓約書欄で入力した本人のカナ氏名と同一であること

※口座情報に不備があると、奨学金の初回振込が大幅に遅れることがあります。
支店の統廃合などもあるため、最新の情報を確認の上、正確な情報を記入してください。
※書類提出時までには振込口座を決められない場合は、空欄のまま構いません。
スカラネット入力時までには口座決定または口座開設を済ませてください。